

“寝具”から始める私のSDGs

第8回：潮田玲子さん(元バドミントン日本代表・スポーツコメンテーター)

世界トップクラスの選手時代から2人のお子さんを育てる今も変わらず、1日のなかで、睡眠をととても大切に考えて暮らす潮田玲子さん。

マニフレックスの「オクラホマ」と「ピローグランデ」を初めて体験し、「寝具の選び方とSDGsへの理解がより深まり、環境と健康を守るためにはささやかでも行動の継続が大切、と改めて気づきました」と語ります。

(取材：潮田玲子 / 撮影：河内 彩 / ヘアメイク：城所とも美 / スタイルリング：今井聖子(カンナ) / 文：角田奈穂子)

しおた・れいこ 北京五輪バドミントン女子ダブルス日本代表、ロンドン五輪バドミントン混合ダブルス日本代表、福島県教育復興大使、日本バドミントン協会広報委員会、一般社団法人Woman's ways代表理事



日々のパフォーマンスを左右する睡眠を大切に、SDGsの実現に向けて「選ぶ責任」も意識したい。

アスリート時代から睡眠にこだわってきた潮田玲子さん。睡眠中に成長ホルモンが分泌される就寝直後の約4時間のゴールデンタイムを大切に考え、親子で早寝早起きの習慣を徹底しています。そんな潮田さんが、「オクラホマ」と「ピローグランデ」を初めて体験し、マットレスへの誤解に気づきました。「海外のホテルに泊ると、やわらかいマットレスが多く、首や腰が痛くなっていたので、硬いマットレスがいいと思いこんでいました。でも、「オクラホマ」も「ピローグランデ」もしなやかな感触で体にフィットし、眠っている間も日課にしている



朝のストレッチのときもまったく痛みを感じなくて、気持ちよく1日をスタートできました」

謎を解く鍵は、マニフレックスが独自に開発した高反発素材「エリオセル®」にあります。体のS字カーブをしっかりと支えてくれるのです。潮田さんは使ってみた体感から、その構造に納得した様子。

さらに潮田さんが驚いたのが、マニフレックスの創業時から続く、人と環境を大切にする企業姿勢です。プラスチックと金属スプリングを使わないマットレスの製造、真空ロールパッケージによる輸送時のCO₂排出量の削減は、SDGsの実現に大きく貢献しています。

「子どもたちの将来を考えると、SDGsを意識することはとても大切。未来への責任は私たち消費者も負わなければならないんですよね。環境と健康の知識が深まれば、誰でもよりよいほうを選ぶはず。一人で取り組んでも変わらないと考えがちですが、ささやかな行動でも日々の積み重ねを続けていけば大きな力になると思うんです」

潮田玲子さんが使って納得!

マニフレックス「オクラホマ」と「ピローグランデ」

「しなやかな感触で体のS字カーブを支える快眠体験がマットレスとSDGsへの理解を深めてくれました」(潮田さん)



オクラホマ
70,180~112,200円(税込み)



ピローグランデ 20,900円(税込み)

←トータル23cmもの厚みが、理想の体圧分散を実現した高級感あふれるモデル。芯材に17cm厚の「エリオセル®」、側地に独自開発の「エリオセルMF®」やエリオファイバーを内包。外気温の変化に強く、1年中、快適な寝心地が得られます。

←高反発素材「エリオセル・マインドフォーム®」を使用。仰向けでも横向きでもやさしく包み込むようにフィットしながら、しっかりと支えてくれます。

※マニフレックスのSDGs「つくる責任 使う責任」の取り組み:金属パネ・スプリング、プラスチック不使用。製造工程でも廃棄の際も有毒ガスは排出しません。

商品のお問い合わせは
TEL:0120-008-604(フリーダイヤル)
受付時間:10:00~12:15、13:15~18:00(平日)
www.magniflex.jp/

マニフレックス

